

令和7年度

# 札幌市立桑園小学校

## 教育活動について

開校以来、桑園小学校では、「知・情・意・体」の調和のとれた人格の育成を目標とし、時代の要請や社会の変化に合わせて学校づくりを行ってきました。

学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの学びや成長を支え、「共に生きる力」を育み、"ひびきあい"のあふれる学校を実現するために、私たちが大切にしている理念や具体的な取組についてご説明します。

令和7年6月23日

# 「共に生きる力」

社会構造が転換し、知識基盤社会が到来しているといわれています。また、グローバル化や情報化が加速度的に進む中で先の予測はますます難しくなっています。そして、複雑化する一方の現代的な課題を解決していく新たな社会のあり方として「Society5.0」が提唱されるなど、世の中の枠組みが大きく変わろうとしています。

このような大きな変化の渦中において、学校教育に求められているのは、新たな社会を創り支えていけるような力を子どもたちに育てていくことだととらえられます。

それでは育てるべき力とはどのようなものでしょうか。

子どもは、自分を取り巻く人々との関わりの中で様々な経験を積み、成功や失敗を重ねながら、自分を見つめたり自信を深めたりして、自己の確立を図っていきます。

子どもが自分のよさを発揮し、他者に積極的にかかわりながら、互いを尊重し学び合い、自分の生き方を高めていくこと、この力を「共に生きる力」と言うことにします。

「共に生きる力」を育てることによって、「自ら学ぶ力」を高め、他者への共感的理解の心（思いやりの心）と自己肯定感を養い、自立した社会人としてよりよい社会を形成しようとする基盤となる態度を培っていきたいと思います。

# 目指す学校の姿

「共に生きる力」を育むため、目指す学校の姿を「"ひびきあい"のあふれる学校」とします。子どもたちの「自立性」と「協同性」に焦点を当て、教育活動を行います。

## 自立性

自ら問い、解決方法を探り、考えを主張する姿勢

## "ひびきあい"

のあふれる学校

## 協同性

多様性を受容し  
対話・議論する姿勢

### 「自立性」

学習において、問いを見出し、解決の見通しをもつことや、自分の考えを表現することを大切にしていきます。  
教科の学習だけではなく、委員会活動など様々な場面においても、この「自立性」を育むことができると考えます。

### 「協同性」

学習において、他者と考えを伝え合う場面を保障していきます。  
友達の意見を聞いて、自分の考えが変わったり、より確かなものになったりすることを大切にします。  
たてわり活動など様々な場面においても、この「協同性」を育むことができると考えます。

# 目指す授業像

授業では「自ら学びを進める子」を目指す子ども像とし、子どもが自ら「つなげる」学びを実現できるようにします。

学習内容と  
つなげる

自分事として、粘り強く取り組む

- わくわくする課題設定
- 明確なゴールの見通し
- 子どもが活動する時間の確保

自分と  
つなげる

過去や未来の自分と結び付け、  
自己調整する

- 学びの足跡の見える化
- 自己選択・自己決定の保障

仲間と  
つなげる

協同や協働、対話を求める

- 協働する必要感が生まれる単元構成
- 仲間とつなげるための土台や場づくり

# 桑園の地域を 生かして

地域を生かした学習も行っています。  
札幌競馬場や中央卸売市場で子どもたちが学びます。本物  
を感じる経験を何事にも代えられません。他にもJR桑園駅  
やふきのとう文庫など、地域の施設を積極的に活用してい  
きます。



JRA(札幌競馬場)



中央卸売市場

# 主な行事・児童活動

日々の教科学習だけではなく、様々な行事や児童活動においても子どもたちの「自立性」と「協同性」を育てていきます。

## 運動会(5月31日)

1・3・5年と2・4・6年に別れて行います。各学年「かけっこ・短距離走」と、「団体競技」に取り組みます。団体競技は体カテストの結果から、桑園小の課題となっている「投げる力」や「力強い動き」などに着目して設定します。

## 学習発表会(10・11月)

それぞれ学年で取組内容を決め、各学級約30分、発表を行います。各学級の発表とすることで、保護者の皆様には、お子さんの日々の学習の成果をゆっくりご覧いただけます。

## 出発の会(5月)・みのりの会(3月)

全校児童が体育館に集まります。出発の会では各学年から頑張りたいことを発表し、みのりの会で成果を発表します。全校委員の司会で進められます。

## 全校遠足(9月5日)

低・中・高学年に別れて実施します。目的地に着き、たてわりグループで交流を深める活動を行います。今年度は、低「円山公園」、中「農試公園」、高「中島公園」となります。

# 昨年度からの変更点

昨年度の児童の様子や社会の情勢から、いくつか変更点があります。運動会では、保護者の方に競技だけではなく、開会式や閉会式での子どもの姿もご覧いただくようにしました。また、専科指導やランチルーム給食を通し、子どもたちが学級以外の先生や友達と「つながり」を感じてほしいと考えています。

## 専科指導

昨年度の英語・外国語活動に加え、5・6年生の理科、3・4年生の図工など、担任とは異なる教師が授業をします。子どもたちの学びの可能性をさらに広げていきます。

## 運動会(5月31日)

開・閉会式も当日行うこととしました。午前開催(1・3・5年と2・4・6年に別れて2部開催)は変更せず行いました。

## ランチルーム給食

4階のランチルームを活用して、2クラスずつ給食を食べます。いつもとは異なる友達と一緒に、楽しく食事と向き合う機会を作ります。

## 4時間授業

昨年度から設定している長期休業後の「スタートウィーク」や、夏休みの前の「サマーウィーク」に加え、月に1回程度、研修や事務作業等の日を設けます。

# 家庭や地域とともに ある学校づくり

「小中一貫した教育」の推進の視点である「家庭や地域との関わり」の一層の充実を図り、学校が家庭や地域と一体となって、子どもの育ちを継続して支えていきたいと思えます。

6月10日に行う札幌市教育推進事業では、本校にパートナー校の先生方が集まり、授業づくりを中心に話し合いました。

## すぐーる・学校ホームページ

今年度も積極的に活用し、保護者や地域に対し、情報発信をし続けていきます。

## 学校評価

児童・保護者アンケートをもとに、よりよい教育活動を目指していきます。昨年度も非常に多くの保護者の方から回答をいただくことができました。

## コミュニティ・スクール構想

学校運営協議会を設置し、子どもと社会をつなぐための仕組みを構築していきます。

## 小中一貫した教育

陵北中学校、二十四軒小学校・日新小学校・桑園小学校をパートナー校とした連携を進めます。昨年は、小学校の児童会と中学校の生徒会でMeet会議を行ったり、学校紹介VTRで交流したりしました。

# ホームページに公開

## 学ぶ力育成プログラム

## 健やかな体育成プログラム

## いじめ防止基本方針

令和7年度 桑園小学校「学ぶ力」育成プログラム  
自らの課題を見つけ、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：21007

「学ぶ力」の意義【協働を通して深く相互理解の態度】の現状と課題

これまでの成果

- 学校評価児童アンケートにおいて、子ども一人一人が主体的を發揮し、協働的な学びの中で「分かった」や「できた」という実感を獲得している児童が9割以上という実態がある。
- 研究部が主となり、「学習内容とのつながり」「自分とのつながり」「仲間とのつながり」を重視した実践を積み重ねることにより、協働的な学びに満足感を得ている児童が増えていることが、共通指標から明らかになった。

課題

- 札幌市の共通指標の「自分ではよいとすることがある」や「人の役にたててうれいを感じることもある」では、8割以上の児童が肯定的な回答をしている。たわわり活動などの児童会活動がその高まりに寄与していると考えられる。今年度はさらに、「自分が必要とされていると感じる」児童をもっと増やしていきたい。また、学びの中でも他者と認め合う機会を設けていきたい。

「学ぶ力」の育成のために目指す資質・能力

子どもが自ら「つなげる学び」を通して培われる「自ら学びを進める力」

AARサイクルの視点で捉え直した課題探究的な学習の推進

さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく自治的な活動の充実

具体的な取組

（本プログラムの実行に向けて）

新年度  
 ◇本プログラムの共有  
 ・職員集会  
 ・自校HPへの掲載

（一人一人の教職員）  
 ◇日々の授業や様々な教育活動での実践  
 ◇札幌研や学年研修等での研鑽  
 ◇学校研究を軸にした授業観の醸成

（学校全体）  
 ◇実践交流/校内研修の場の保障  
 ◇札幌研「協働実践」における成果共有  
 ◇子どもの育ちの共有

次年度へ  
 ◇成果と課題を共有  
 ・学校評議会  
 ・研究会全体

令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：21007  
学校名：桑園小学校

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果

	令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析
体力・運動能力 ＜男子＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国平均と同程度、または上回っている項目                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・握力・上体起こし・長座体前屈</li> </ul> </li> <li>○全国平均を下回っている項目                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・反復横とび・20mシャトルラン・50m走</li> <li>・立ち幅跳び・ソフトボール投げ</li> </ul> </li> </ul>	本校児童は、男女ともに筋力面、柔軟性では全国平均をやや上回っている。しかし、「敏捷性」、「巧緻性」、「全身持久力・心肺持久力」に課題がある。しかし、運動・スポーツが好き、体の授業が楽しいという点で肯定的な回答をしている児童の割合は高い。よって、体力維持やこの機会を捉え、できるようなった喜びを実感しながらより運動時間が豊富な授業を積み上げていく必要がある。今年度も全学年で体力・運動能力テストを実施し、本校児童全体の運動課題を把握し、来年度の育成プランを考えていきたい。
体力・運動能力 ＜女子＞	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国平均と同程度、または上回っている項目                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・握力・上体起こし・長座体前屈</li> <li>・立ち幅とび</li> </ul> </li> <li>○全国平均を下回っている項目                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・反復横とび・20mシャトルラン・50m走</li> <li>・ソフトボール投げ</li> </ul> </li> </ul>	
運動・スポーツへの意識 運動習慣	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動・スポーツが好き、やや好き 一桑園小 89.2%</li> <li>○体育の授業は楽しい、やや楽しい 一桑園小 91.3%</li> </ul>	

三つの取組

- ①体育・保健体育等の授業の充実
  - 児童の実態に合わせた学びの充実
    - 課題探究的であり、運動量が豊富な体育の授業の充実（分かる、できる、楽しい運動を目指した授業づくり）
    - ウォーミングアップや体づくり運動での1年を通した「なわとび」の継続的な取組を軸とした運動習慣づくり
    - 全校跳び箱月間、全校マツ月間等、効率的で活動がしやすい場の設定と環境整備の継続、校内ミニ研修の実施
- ②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組
  - 日常の遊びの中から運動能力を獲得
    - 日常の遊びの中から「楽しい」を見い出しながら運動能力を獲得できるように、運動環境の整備を継続・強化
    - ドッジボール、縄跳び等の場を充実させた体育館遊びや外遊びの奨励
    - グラウンドや体育館で思い切り走る経験の積み上げ
    - 低学年からの遊びを通した運動習慣の獲得（先生方も一緒に遊ぶ）
- ③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
  - 保健の授業や保健指導の充実
    - 進級検診と連携し「けがの予防」「歯」「生活習慣」「眼の予防」「大切ないのち」等の指導を計画的に行い健康や安全に対する意識を高める
    - 日常の怪我の防止や安全指導の充実
    - 生活習慣アンケートの結果をもとに、保健指導を実施することで自分の生活を振り返り、より健康的な生活を送ろうとする態度を養う
  - 食育の授業や食育指導の充実
    - 栄養士と連携し、各学年に応じた「食指導」を計画的に行い、食に対する理解を深める
    - 日常の給食指導の充実

部室・地域との連携・協働

- 全国体力・運動能力テスト結果の考察・分析・活用、運動習慣等調査結果の考察・分析・活用
- 校内生活アンケート・保護者アンケートの活用

3いじめ防止等のための本校の取組			
	重点的・具体的取組	行動計画・行動目標	中心となる教員
未然防止	○学校安全計画	○学校安全計画に「いじめの防止」「命を大切にする指導」を位置付け、体系的・計画的な取組を進める。	校長・教頭 主幹教諭
	○学級経営	○様々な行事や体験活動を通して「絆づくり・仲間づくり」を意識した指導を行い、児童一人一人が認められ、お互いを大切にしたい、学級の一人として自己有用感をもてるような学級づくりを行う。 ○児童一人一人が、「自分の居場所」を感じられるような学級経営に努め、児童との信頼関係を深める。 ○きまりの意義を理解し、守っていこうとする「規範意識」の醸成に努める。	学級担任 学年主任会 行事・生徒指導部
	○豊かな心の育成	○「異学年交流」「委員会活動」「クラブ活動」など、児童会の主体的な活動や異学年交流を通して、児童一人一人が支え合い、認め合える人間関係と学校風土を創り上げる。 ○あいさつを啓発していくことで、コミュニケーション能力の育成につなげ、心のふれあいを大切にしようとする態度を育む。（ミシアル DAY）	児童活動部 生徒指導部
	○授業改善	○「分かる・できる・楽しい授業」の推進、「学習規律」についての発達の段階に応じた指導を行うことで、児童に基礎・基本の定着を図る。 ○一人一人が「活きる授業」を日々行うことに努め、学習に対する達成感・成就感を育てる。	研究部 学びの支援コーディネーター

これらは毎年作成し、ホームページに公開しています。

また、学校評価に関する発信や、全国学力学習状況調査の結果の概要などについても、ホームページやすぐーるにてお伝えしていきます。

令和7年度

# 札幌市立桑園小学校

## 教育活動について

11月には保護者の皆様に「保護者アンケート」を実施させていただき、本校の教育活動の見直し・改善を図っていきます。

今後も、よりよい学校教育の創造に努めて参りますので、本校の教育活動へのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

令和7年6月23日